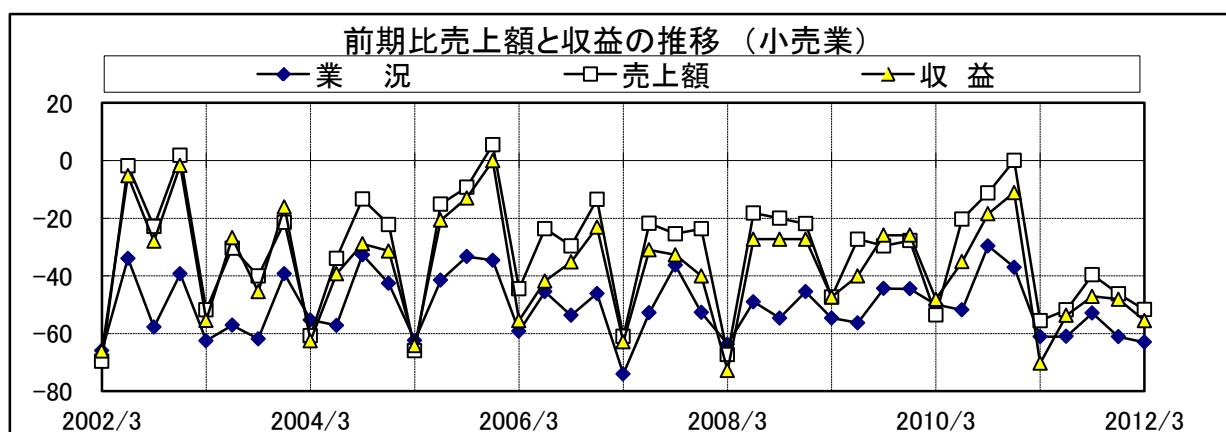


小 売 業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-52.9	-61.1	-63.0	-64.8
売上額	-39.6	-46.2	-51.7	-20.3
収 益	-47.1	-48.1	-55.5	-27.7

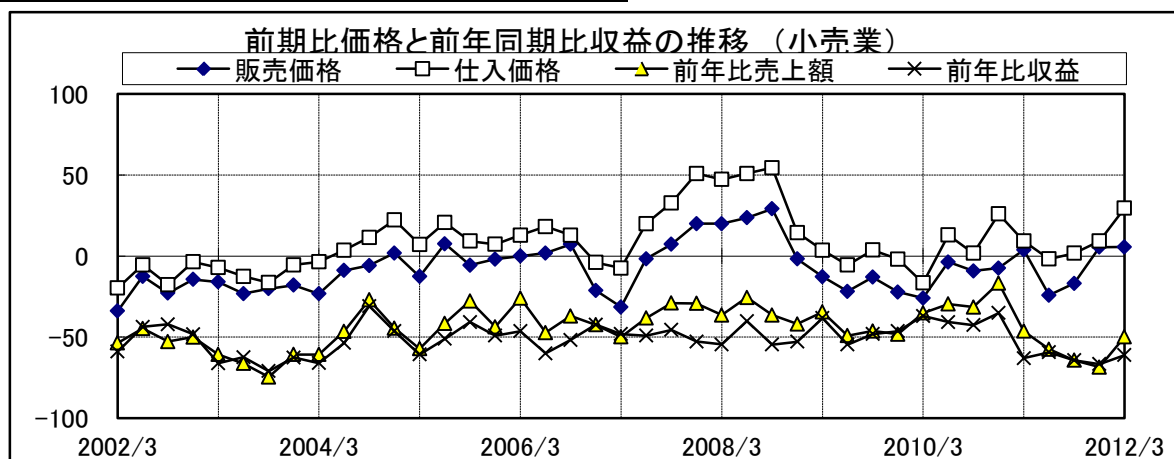
今期の業況判断DIは△63.0と、前期比1.9ポイント下降した。地区別にみると、浦河地区で上昇の動きを示し、静内、様似、広尾地区では下降している。三石、えりも地区は横ばいとなっている。売上額判断DI△51.7は、前期比5.5ポイント下降した。収益判断DI△55.5は、同比7.4ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	-16.9	5.5	5.6	-5.5
仕入価格	1.8	9.3	29.6	11.2

販売価格判断DI5.6は、前期比ほぼ横ばい。仕入価格判断DI29.6は、前期比20.3ポイント上昇、価格上昇基調を強めている。業種別にみると、衣料品、食料品は販売価格、仕入価格ともに上昇し、家電品では仕入価格が上昇し、販売価格は下降している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-11.3	-5.6	-20.4	-18.5
人手状況	-1.9	-5.5	-3.7	-14.8

残業時間判断DIは△20.4と、前期比14.8ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは△3.7と、前期比1.8ポイント上昇、人手不足感を弱めている。

□ 設備投資の動き

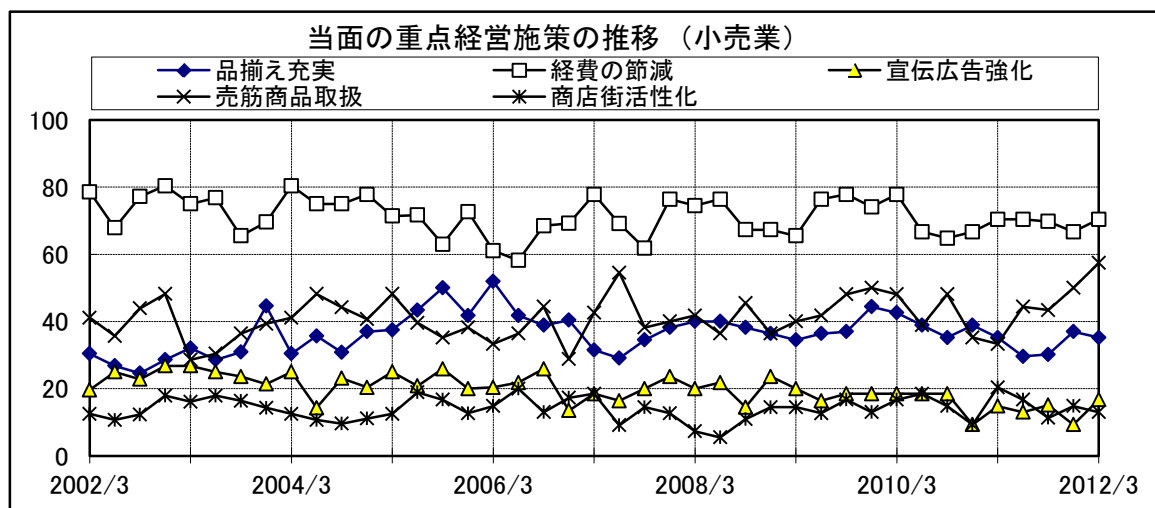
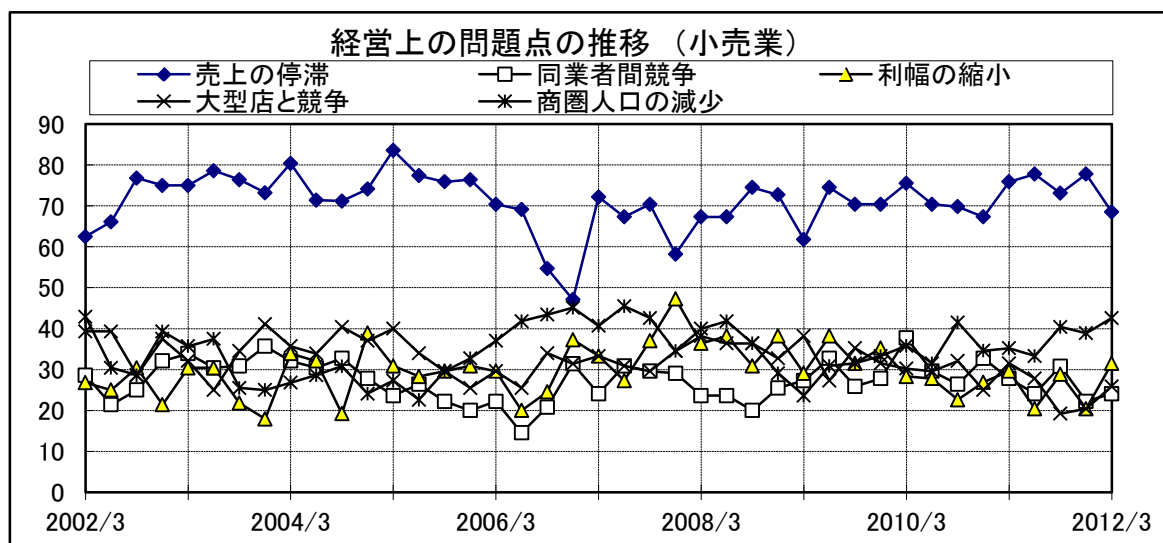
設備投資の充足感を示すD Iは△12.9と、前期△7.5から5.4ポイント下降し、不足感を強める一方、適正と回答した企業は83.3%と、前期85.1%比1.8ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は16.7%と、前期9.3%比7.4ポイント上昇、件数で前期の5社に対し9社の実施となった。来期の設備投資は、当期比6社減の3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」をトップに挙げ68.5%、次いで「商圏人口の減少」42.6%、「利幅の縮小」31.5%、「大型店との競争」25.9%「同業者との競争」24.1%、の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ70.4%、次いで「売れ筋商品取扱い」57.4%、「品揃えの充実」35.2%、「仕入先を開拓選別」22.2%、「宣伝広告を強化」16.7%、の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△64.8と、今期△63.0と比べ1.8ポイントの下降見通しとなっている。予想売上額判断D I△20.3は、今期△51.7と比べ31.4ポイント上昇の見通しとなっている。予想収益判断D I△27.7は、今期△55.5と比べ27.8ポイント上昇の見通しとなっている。一方、予想販売価格判断D I△5.5は、今期5.6と比べマイナス水準となり11.1ポイント下降、価格低下基調見通しとなっている。予想仕入価格判断D I 11.2は今期29.6と比べ18.4ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。

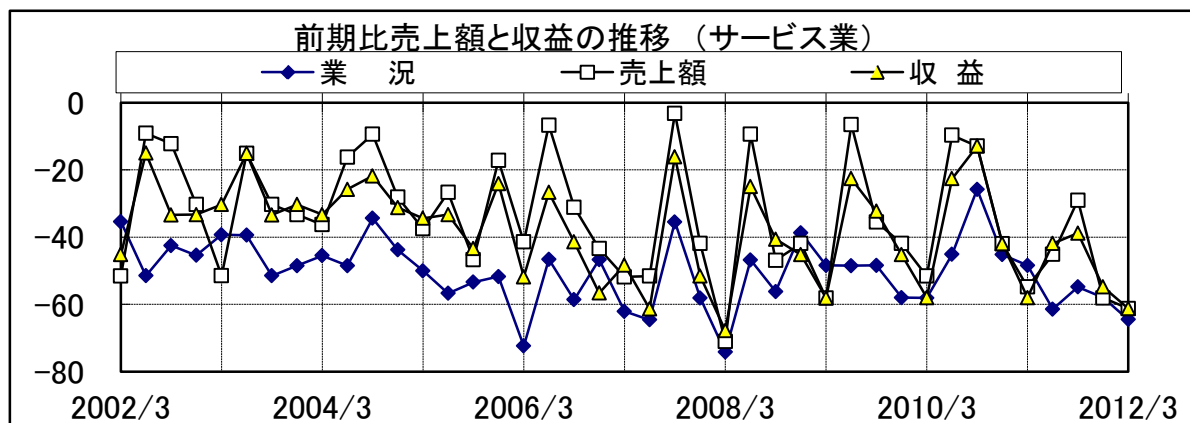
サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-54.8	-58.0	-64.5	-67.8
売上額	-29.0	-58.1	-61.2	-45.2
収 益	-38.8	-54.8	-61.2	-48.4

今期の業況判断DIは△64.5と、前期比6.5ポイントの下降となった。地区別にみると、静内地区が上昇し、浦河、三石、様似で下降している。えりも、広尾地区は横ばいとなっている。

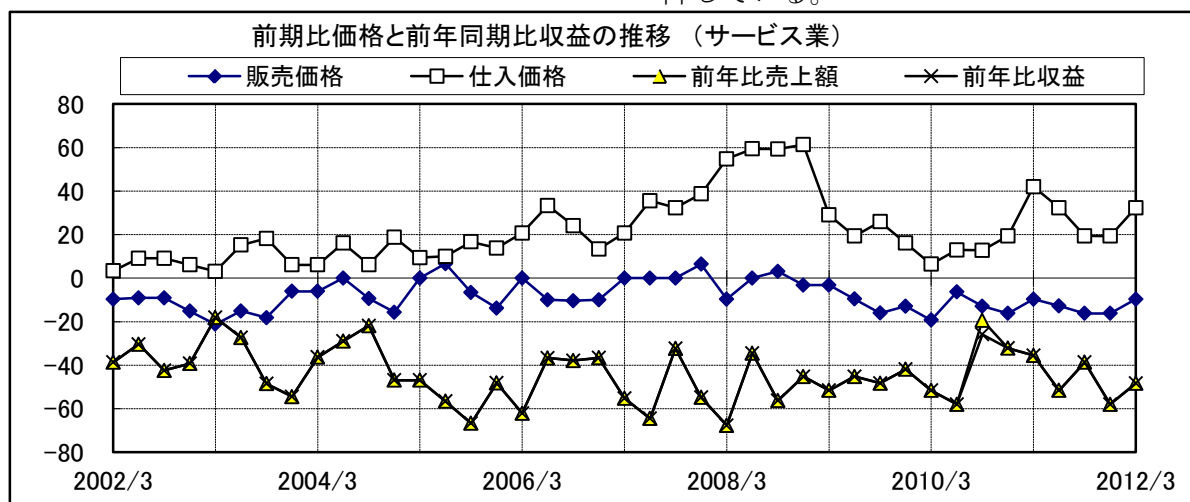
売上額判断DI、収益判断DIは、ともに△61.2と、前期比それぞれ3.1、6.4ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
料金価格	-16.2	-16.2	-9.7	-12.9
材料価格	19.4	19.3	32.3	12.9

料金価格判断DI△9.7は、前期比6.5ポイント上昇、価格低下基調を弱めている。材料価格判断DI32.3は、前期比13.0ポイント上昇し、価格上昇基調を強めている。業種別にみると、料金価格は洗濯・理美容で上昇、旅館は横ばい、自動車整備で下降している。材料価格は、洗濯・理美容、旅館で上昇、自動車整備で下降している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-16.2	-22.6	-35.5	-32.3
人手状況	-12.9	-9.6	9.6	0.0

残業時間判断DIは△35.5と、前期比12.9ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは9.6と、前期比19.2ポイント上昇、人手過剰感を強めている。

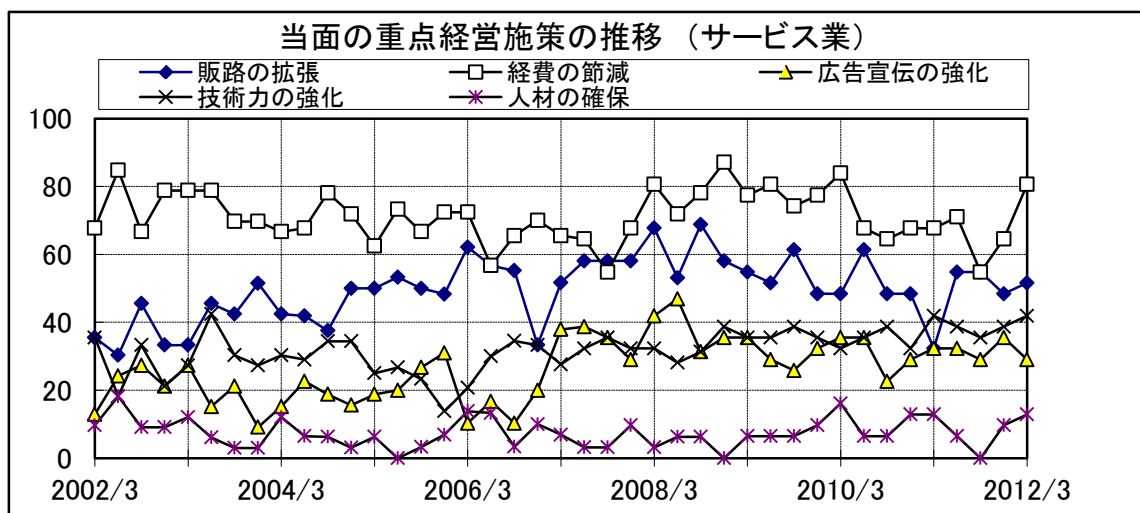
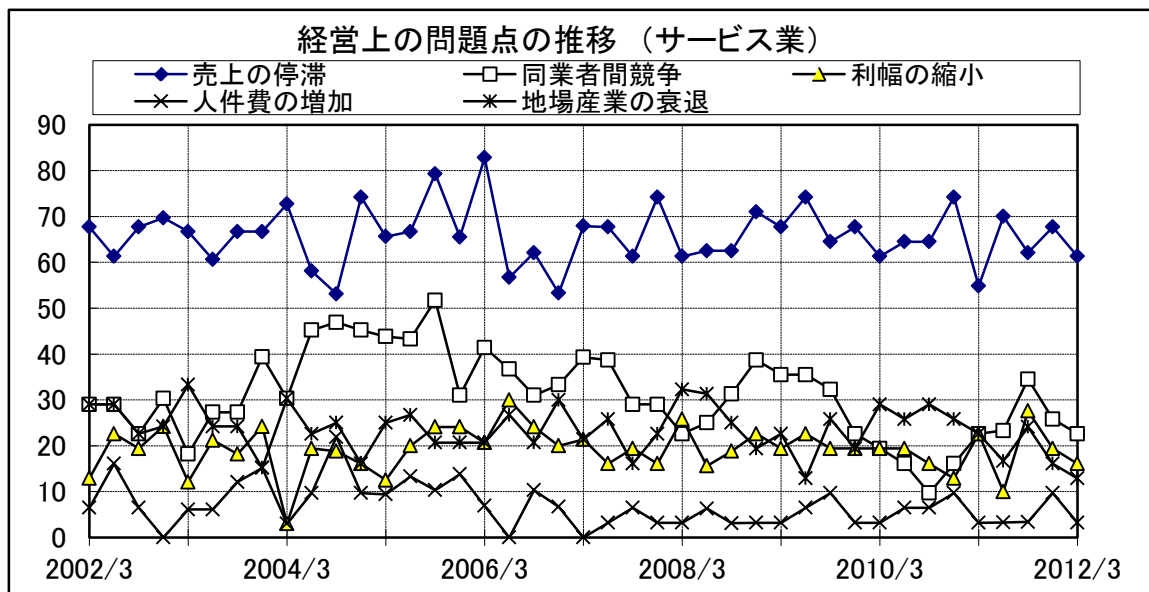
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△23.3と、前期△35.5から12.2ポイント上昇し不足感を弱める。適正と回答した企業は63.3%と、前期58.1%から5.2ポイント上昇した。設備投資実施企業割合は12.9%と、前期29.0%比16.1ポイント下降、件数で前期の9社に対し4社の実施となった。来期の設備投資は、当期比1社増の5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ61.3%、次いで「商圈人口の減少」51.6%、「材料価格の上昇」29.0%、「同業者との競争」22.6%、「店舗整備の老朽化」19.4%、「利幅の縮小」、「取引先の減少」16.1%の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ80.6%、次いで「販路を拡張」51.6%、「技術力の強化」41.9%、「宣伝広告の強化」29.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△67.8と、今期△64.5と比べ3.3ポイントの下降見通しとなっている。

予想売上額判断D I △45.2は、今期△61.2と比べ16.0ポイント上昇の見通しとなっている。予想収益判断D I △48.4は今期△61.2と比べ12.8ポイント上昇の見通しとなっている。

予想料金価格判断D I △12.9は、今期△9.7と比べ3.2ポイント下降し、価格低下基調が強まる見通しとなっている。一方、予想材料価格判断D I 12.9は、今期32.3と比べ19.4ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。